

地震発生！安全確保を最優先に 大きな揺れは数分間続くこともあります

① 安全確保の3ステップ



- ・大型家具・実験器具、自販機、ガラス窓などから離れましょう。
- ・停電になっても、落ち着いて。

② 避難は「お・は・し・も」

おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない

- ・揺れが収まったら、声を掛け合って状況を確認
- ・火が出ていたら安全な範囲で初期消火
- ・避難の前に、電気・ガスのスイッチは切って

③ 校内にいたら指定(一時)避難場所へ(裏面MAP参照)

- ・教職員の指示に従う。
- ・けが人がいたら応急手当の後、指示にもとづき保健室へ。

④ 避難場所では健康状態などを申し出る。

- ・その後は学校の指示に従い行動を。
- ・安否確認システムのメールが届いたら対応する。

災害対策のヒント

【災害時の連絡】

●災害用伝言ダイヤル171

携帯電話・公衆電話からダイヤル「171」

○自分の状況を伝えたいとき(録音)

171+1+自分の電話番号→伝言

○相手の伝言を聞きたいとき(再生)

171+2+相手の電話番号→聞き取り

●災害用伝言板(携帯電話各社)

携帯各社の公式メニューから「災害用伝言板」に。

毎月1日・15日に無料体験

●LINEで「既読」が確認できれば、無事

【カバンの中に】

●ツイッター

気象庁、消防庁、自治体などの
アカウントで災害情報を収集

●らじる★らじる radiko

NHKラジオ、地元のラジオ放送が聴けるアプリ

【カバンの中に】携帯ライト、笛、小銭、食料

「帰宅する・しない」の 判断は？

建物崩壊、道路寸断。災害時の街を歩くのは想像以上に困難です。自宅から10km以上離れた場所にいる場合は帰宅が困難な場合があります。「帰る・帰らない」の的確な判断をしてください。

それでも帰宅する

- ・自宅までの距離を知っていますか？
- ・がれき、ガラスが散乱する道を歩いても安全な靴ですか？
- ・食料や水などはありますか？
- ・主要道路、交通機関は大混乱が予想されます。

あえて帰宅しない

「安全な場所にとどまる」のも選択肢の一つです。
海洋科学高校では、帰宅困難者に対して待機場所等を用意します。

いつも持っていよう

災害発生時の行動 マニュアル

もしもに、備えよう

緊急地震速報が鳴ったら！
強い揺れまでの時間は、
数秒から10数秒。



あわてず、冷静に、
安全な場所を見極めよう。



海洋科学高等学校

あわてない。自分の身を守る。

海洋科学高等学校の建物は
耐震基準を満たしているので、
倒壊の危険はありません。

落ち着いて。教職員の指示に従い避難
建物ごとに指定(一時)避難場所が設置されています。

安全が確保されたら、安否連絡
事前に準備してあわてず連絡がとれるように。

帰宅は、正確な情報を確認してから。
学校は帰宅困難者に対応します。
無理して帰らず
災害の状況に応じて判断しましょう。

海洋科学高等学校の最新情報をチェック
kou.oita-ed.jp/kaiyoukagaku/

このマニュアルは震度6弱以上の地震を想定
しています。学生向けに作成していますが、
教職員も活用できます。

今すぐ登録

以下の手順で、災害時の安否確認に協力してくだ
さい。防災訓練でも使用します。

① 緊急連絡用メールアドレスの登録

「39メール」へ登録してください。

メールアドレスを変更したときは再登録。

② 学校から一斉メール発信

災害時、登録されたアドレスにメールが届きます。

③ 安否状況の入力

メールを受信し、指示に従い安否状況等を入
力して送信

今すぐ記入を

家族の携帯番号・メールアドレス

海洋科学高等学校

電話番号 0972-63-3678

FAX番号 0972-63-3679

学校メールアドレス

a32460@oen.ed.jp

携帯サイト

<http://kou.oita-ed.jp/kaiyoukagaku/mobile/>

海洋科学高校 指定(一時)避難所 MAP

